



事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input checked="" type="checkbox"/> その他	附属期間等における公募委員及び女性委員の選出割合の目標値を達成していくためには、必要なものです。	● 高 ○ 低
有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	附属機関等の担当課に対して、目標値を示して達成への働きかけを継続することは、有効な手段であると考えます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	「附属機関の設置及び委員の選出に関する基準」及び「附属機関への女性の参画促進について(指針)」に基づいたものであり、妥当であると考えます。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input checked="" type="checkbox"/> その他	公募委員と女性委員の選出割合を改善していくための手法については検討の余地があるかと考えます。	○ 高 ○ 中 ● 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> 公募委員については、それぞれの附属機関における要綱等により人数が規定されている例が多く、選出割合の改善についてはこの要綱等の改正が必要と考えられます。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 予算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額	平成25年度 試算額
事業内容			附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進	附属機関等への女性委員・公募委員の参画推進
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.25	0.20	0.20	0.20	0.20	0.20
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	2,098	1,672	1,652	1,652	1,652	1,652
フルコスト (A+B)		0	2,098	1,672	1,652	1,652	1,652	1,652

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成23年度の事業の方向性	
● 現状の規模で継続    ○ 拡大して継続    ○ 縮小して継続    ○ 廃止    ○ 休止    ○ 終了    ○ 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 公募委員と女性委員の選出割合の改善について引き続き各担当課への働きかけを行うこととし、現状規模での継続とします。	
平成23年度の取組方針	
公募委員と女性委員の選出割合が、目標値に届くことを目指して、引き続き各担当課に働きかけを行います。	
課長コメント	引き続き、公募委員と女性委員の選出割合の改善に向けて、各担当課への働きかけを行っていく必要があると考えます。

# 事業評価シート（平成21年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	地域ポータルサイト構築事業		
事業担当	市民部 協働推進課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード      ● ソフト
行政改革の位置付け	11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	02	多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等			
対象・受益者		事業期間	～ 平成21年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
企業や団体等で運営する地域ポータルサイト構築のための検討が進み、そこに情報を提供するためのホームページを主体的に開設する自治会、市民活動団体などが増加し、市民の間で情報の共有が図られています。		地域で情報を共有するため、ホームページ開設への支援などをしながら、地域ポータルサイト構築に向けた検討を行います。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	地域ポータルサイトに情報を提供できるホームページの開設数						単位	件
	説明・算定式	各地区連合自治会での開設を想定							
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標実績		1	2					
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標実績		-	-					
成果指標①	指標名	ホームページへのアクセス件数						単位	件
	説明・算定式	開設したホームページへのアクセス件数							
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標実績		45,000	90,000					
成果指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標実績		-	-					
進捗状況	②：若干遅れている								
	遅れている理由	当初想定していたの各地区連合自治会での開設ができなかったため。							
平成21年度の主な取組と成果									
地域情報を共有するための手段として、関係者とポータルサイトの仕組みづくりを行いました。平塚市自治会連絡協議会や地域での説明や話し合いを重ね、1地区で開設するとともに全市共通の仕組み構築に向けた準備を行いました。									
平成21年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会（町内会）に関する情報不足を解消するために、地域ポータルサイトを構築して、情報を発信していくことは必要です。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 地域での情報の共有化を図ることで、自治会加入促進にもつながると考えられます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制（人員配置、業務分担） <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 自治会（町内会）に関する情報発信の有効的な手段として、ホームページの立ち上げを支援していきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input checked="" type="checkbox"/> 事業手法（民活の余地、事業形態の検討） <input type="checkbox"/> その他	<input checked="" type="checkbox"/> 情報を発信するためのホームページを主体的に開設する自治会（町内会）へ呼び掛けて、ホームページの立ち上げを支援していきます。	<input checked="" type="radio"/> 高 <input type="radio"/> 中 <input type="radio"/> 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> アクセス件数（指標）は、ポータルが立ち上がった後になるため、現時点では指標の測定が出来ず指標の設定について見直しが必要です。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 予算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額	平成25年度 試算額
事業内容			モデルとなるHPの開設、サイト立上げに向けたしくみの検討	モデルとなるHPの開設、サイト立上げに向けたしくみの検討	他地区への拡大、HP開設支援等、サイト立上げに向けたしくみづくり	他地区への拡大、HP開設支援等		
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.15	0.25	0.45	0.45	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	1,259	2,089	3,717	3,717	0	0
フルコスト (A+B)		0	1,259	2,089	3,717	3,717	0	0

## 4. 今後の事業展開（担当課としての提案）

平成23年度の事業の方向性	
<input checked="" type="radio"/> 現状の規模で継続 <input type="radio"/> 拡大して継続 <input type="radio"/> 縮小して継続 <input type="radio"/> 廃止 <input type="radio"/> 休止 <input type="radio"/> 終了 <input type="radio"/> 他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 平成22年度以降は事務事業として、ポータルサイト構築に向けて、地域と連携して事業を継続します。	
平成23年度の実行方針	
地域で情報を共有するためにホームページ設立支援などを行い、地域情報共有ポータルサイトの構築、運用に向けて取り組みます。	
課長コメント	まずは、地域内の複数の団体の情報の収集、発信などの管理運営が行えるよう、自治会を始めとした地域へのメリットなどの説明を行うとともに、地域に出向き、担い手を含めた推進体制を地域と考えていきます。

# 事業評価シート（平成21年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	住民実態調査事業		
事業担当	企画部 企画課		
予算科目	01-020502-010000	事業種類	○ ハード ● ソフト
行政改革の位置付け	11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	02	多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等	平塚市住民の実態調査に関する条例		
対象・受益者	市民	事業期間	
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/> 】		
目的・目標		事業の概要	
住民実態調査を行い、より多くの市民意見が施策に反映されています。		各事務事業に対する市民の満足度・重要度を把握するため、住民実態調査の中で市民満足度調査も実施します。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	回収率						単位	%
	説明・算定式	住民実態調査等の調査票回収率							
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標		50	50.5	-				
			48.4	41.4					
活動指標②	指標名	調査事項の数						単位	件
	説明・算定式	調査事項として採用できた件数							
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標					1	2	2	
成果指標①	指標名	市民意識調査の満足度の平均点数						単位	点
	説明・算定式	満足度「ふつう：0点」を標準とする平均評価点数、「そう思う：2点」、「ややそう思う：1点」、「あまりそう思わない：▲1点」、「そう思わない：▲2点」							
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標		-	0	-				
			▲0.3						
成果指標②	指標名	市民満足度・重要度に関する調査内容の検討の進捗度						単位	%
	説明・算定式	平成20年度：たたき台（10%）、平成21年度：素案（30%）、平成22年度：案（40%）、平成23年度：完成（20%）							
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標		10	40	80	100			
		40	80						
進捗状況	②：若干遅れている								
	遅れている理由	回収率が減少したが、前年度に比べ設問数が多かった（4倍以上）ためと考えられます。							
平成21年度の主な取組と成果									
平成19年度に策定した総合計画の基本目標の達成状況を確認するため、市民意識調査を実施しました。									
平成21年度の検証結果	A：成果があがった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市民ニーズ <input checked="" type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	平塚市民の実態や意識を調査することによって、市民ニーズを把握することができます。	● 高 ○ 低
有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input checked="" type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	平塚市民の実態や意識を調査することによって、市民の施策に対する満足度を把握し、その結果を施策の展開に反映することができます。	● 高 ○ 低	
妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	市民の実態や意識を調査することは、事業や施策の展開に必要なものなので、妥当性は高いと判断します。	● 高 ○ 中 ○ 低	
効率性	<input type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	調査対象抽出標本数については検討する必要があります。	○ 高 ● 中 ○ 低	
<b>今後に向けた課題の分析</b> 回収率を高めるために調査票の質問方法の更なる検討を行う必要があります。				

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

	平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 予算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額	平成25年度 試算額	
事業内容		調査設問の検討、実施、結果報告書作成・公表、内容・項目の検討等	市民意識調査の実施、結果報告書作成・公表	調査内容・項目の検討	内容・項目の検討、調査設問の検討、実施、結果報告書の作成・公表等	調査設問の検討、実施、結果報告書作成・公表、内容・項目の検討等	調査設問の検討、実施、結果報告書作成・公表、内容・項目の検討等	
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	
	県支出金	0	0	0	0	0	0	
	起債	0	0	0	0	0	0	
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	
	一般財源	0	776	1,280	0	1,281	1,281	1,281
事業費 (A)	0	776	1,280	0	1,281	1,281	1,281	
執行率 (%)	0.00	0.00	0.00					
内訳	職員 (人)	0.00	0.50	0.40	0.30	0.40	0.40	0.40
	再任用 (人)	0.00	0.05	0.10	0.00	0.10	0.10	0.10
人件費 (B)	0	4,367	3,688	2,478	3,645	3,645	3,645	
フルコスト (A+B)	0	5,143	4,968	2,478	4,926	4,926	4,926	

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成23年度の事業の方向性	
○現状の規模で継続    ●拡大して継続    ○縮小して継続    ○廃止    ○休止    ○終了    ○他事業と統合	
<b>&lt;判断理由&gt;</b> 平成22年度は国勢調査があるため住民実態調査は実施しませんが、条例の主旨を鑑み、23年度には住民実態調査を実施します。	
平成23年度の取組方針	
調査票の内容や調査対象の標本数について検討を続けます。	
課長コメント	総合計画の基本目標の達成状況を継続的に確認するために、市民意識調査は必要であると考えます。

# 事業評価シート（平成21年度分）

## 1. 事業の位置付け

事務事業名	市民アンケート調査事業		
事業担当	企画部 行財政改革推進課		
予算科目	00-xxxxxx-xx0000	事業種類	○ ハード      ● ソフト
行政改革の位置付け	11	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	01	市民と市がコミュニケーションを重ね、相互の信頼関係を深めるために	
	02	多様な意見を行政運営に活かすしくみ	
根拠法令等			
対象・受益者	市民	事業期間	～平成21年度
委託、協働	【委託： <input type="checkbox"/> 3セク・財団 <input type="checkbox"/> 企業 <input type="checkbox"/> NPO <input type="checkbox"/> その他】 【協働： <input type="checkbox"/>		
目的・目標		事業の概要	
市民意識や市政への評価、ニーズ等を把握することにより、市民の視点に立った各種事業や施策の展開が図られています。		公共施設利用者や市役所来庁者等に対して、窓口サービスや施設利用に対する要望や満足度などに関するアンケート調査を実施し、各種事業や施策へ反映していきます。	

## 2. 事業の検証

活動指標①	指標名	調査実施回数						単位	回
	説明・算定式	アンケート調査を実施した回数							
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標		2	2					
	実績	1	0						
活動指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標		-	-					
	実績		-						
成果指標①	指標名	利便性が向上した項目数						単位	件
	説明・算定式	アンケート調査の回答により改善された項目							
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標		-	2					
	実績		-	0					
成果指標②	指標名	-						単位	-
	説明・算定式								
		平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
	目標		-	-					
	実績		-						
進捗状況	③：遅れている								
	遅れている理由	アンケートの実施について検討しましたが、実施には至りませんでした。							
平成21年度の主な取組と成果									
行政評価等をもとに、平成20年度に実施した内容等を検証しました。									
平成21年度の検証結果	C：十分に成果をあげることができなかった								

事業分析	項目	分析の視点	左記の視点に関する分析・課題の抽出	総合評価
	必要性	<input type="checkbox"/> 市民ニーズ <input type="checkbox"/> 事業目的の達成状況 <input checked="" type="checkbox"/> 市の関与の必要性 <input type="checkbox"/> その他	個別の業務や施設では、必要に応じて個々にアンケートを実施しています。	○ 高 ● 低
	有効性	<input type="checkbox"/> 上位施策への貢献 <input checked="" type="checkbox"/> 市民満足度を高める方策 <input type="checkbox"/> 継続による成果向上の可能性 <input type="checkbox"/> その他	業務内容や対象とする利用者が異なることから、統一的なテーマの設定は、必ずしも業務改善等に結び付くとは限りません。	○ 高 ● 低
	妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業の目的、対象、内容 <input type="checkbox"/> 受益者負担、補助額 <input type="checkbox"/> 業務の執行体制(人員配置、業務分担) <input type="checkbox"/> その他	個々に行っているアンケート調査等と、本事業が重複することもあります。	○ 高 ○ 中 ● 低
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 業務プロセス改善による効率化の方策 <input type="checkbox"/> コスト削減の可能性 <input type="checkbox"/> 事業手法(民活の余地、事業形態の検討) <input type="checkbox"/> その他	実施に際しては、関係課の協力のもとに実施し、利用者等にも負担のない範囲で実施しています。	○ 高 ● 中 ○ 低
今後に向けた課題の分析		利用者の利便性の向上に向けて、アンケート調査を含めた手法の検討を行う必要があります。		

## 3. 年度別事業内容・事業費

(単位：千円)

		平成19年度 決算額	平成20年度 決算額	平成21年度 決算額	平成22年度 予算額	平成23年度 試算額	平成24年度 試算額	平成25年度 試算額
事業内容			テーマ等、施策反映等の検討、調査実施、結果分析・施策等への反映	テーマ等、施策反映等の検討、調査実施、結果分析・施策等への反映				
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0	0	0	0
	起債	0	0	0	0	0	0	0
	その他 特財	0	0	0	0	0	0	0
	一般財源	0	0	0	0	0	0	0
事業費 (A)		0	0	0	0	0	0	0
執行率 (%)		0.00	0.00	0.00				
内訳	職員 (人)	0.00	0.30	0.20	0.00	0.00	0.00	0.00
	再任用 (人)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
人件費 (B)		0	2,518	1,672	0	0	0	0
フルコスト (A+B)		0	2,518	1,672	0	0	0	0

## 4. 今後の事業展開 (担当課としての提案)

平成23年度の事業の方向性	
○現状の規模で継続 ○拡大して継続 ○縮小して継続 ○廃止 ○休止 ○終了 ●他事業と統合	
<判断理由> 平成22年度からは『窓口開庁時間等の拡大推進事業』に統合して、検討していきます。	
平成23年度を取組方針	
課長コメント	市民サービスの向上に努めるための手法を検討・調査し、平成22年度から『窓口開庁時間等の拡大推進事業』に統合して推進します。